

連載37

そして音楽の旅は続く

ピアニストの池野成秋さん



▲池野成秋&フレッシュギャルズ

意外と知られてないことですがJAZZのLIVEは通常、初対面のメンバーであってもリハーサル無しの、ぶっつけ本番で行います。私はボーカルなので一応、自分のkeyに書き換えた譜面を持っていきますが、ミュージシャンは星の数ほどあるスタンダードソングのコード進行が頭に入っているの、譜面が無くても移調しながら演奏ができます。凄いよね～。それにJ-POPや演歌と違って、JAZZのスタンダードソングは世界共通語みたいなものなので、フランスの街角でもアフリカの僻地でもJAZZやろう～!となれば直ぐに楽しめる…まさに音を楽しむ「音楽」ですね。残念ながら私の人生初JAZZ LIVEでは緊張で音を楽しむ余裕はありませんでしたが、ピアニストの池野成秋さんがたくさん助けてくださいました。以前、友人から聞いた話によると、池野さんは音楽的に大変厳しい方なの

で、下手くそだと途中から弾いてくれなくなるとか…その噂を聞いたときは「もしそうだったら初心者の方はお手上げ～。お客様に申し訳ない～」。でもあまり真剣に受け止めませんでした。だって人の噂話って当てにならないんだもん。知り合っただけで判断した方が良くと思うのよね。

そしてついに当日、優しい笑顔で始まりました。私が初LIVEだからと、池野さんはお祝いのワインをプレゼントしてくださいました。お気遣いの細やかな、お気持ちの温かいお人柄で感激しました。LIVEでちゃんと唄えたのかは緊張で記憶に無いのですが、その夜は池野さんがそばで包んでくれたような心地良い印象が残っています。私はとにかく今、精一杯唄うことしかできない。池野さんはそんな私を優しくサポートしてくれました。故ユミさんが、JAZZ新参者の私を池野さんと組ませてくれたのは、こういう心地良い世界を教えてくれるためだったんだなあ。池野さんがどれだけ凄いピアニストなのかは、LIVEが終わってみんなでお喋りしてる時に知りました。書くときリがないので…一言でいうとJAZZ界の宝石!重鎮だったんです。(1963年あの力道山の事件の時、赤坂のニューラテンクオー

ジャズボーカリスト

星乃けい

official website

<https://www.hoshinokei.com>

ターという超一流店の控室で出番待ちをしていたという大ベテラン!)この日をきっかけにその後、演奏してもらったり、聴きに行ったり、池野さんのオリジナル曲をコンサートで唄わせてもらったりしました。お喋りをしていても、豊富な経験からの楽しい話題、優しい語り口、そして音楽に対してはご自身の思い描く世界に真剣に向かわれていらっやる、そんな姿勢を間近で学ばせていただきました。一度だけと思ったLIVEなのに、あ～ユミさんの罠にハマったかも。ところで後日、池野さんとボーカルの方のリハーサルを聴きに行った時、演奏中にピアノの蓋をパタンと閉じるお姿を拝見しました。噂は半分、本当だったみたい～。



Photo: Yeshiro Yasuda

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。